



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ maps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.5 2022.05.31 今回のテーマ | データ登録方法とクリップリスト

今回の内容

日頃は「I.B.MUSEUM SaaS」をご利用いただき、誠にありがとうございます。長く続いたコロナ禍もようやく出口らしきものが見えてきた。この頃、弊社スタッフも以前と同じようなペースでお客様訪問を再開いたしました。こんな機会ですので、最近のシステムの稼働状況などをお尋ねしているのですが、お声をうかがう限りでは、館によってご利用の機能にかなりのバラつきがあるようです。I.B.MUSEUM SaaSは多機能なシステムですので、お客様によって必要な機能・不要な機能が生じるのは当然のことなのですが、気になるのは、お使いでない機能をご紹介しますと「そんなに便利な方法があったの?」「もっと早く知りたかった」と驚かれる館が少なくないこと。これは、弊社の告知不足であるものと反省いたしております。

今回ご紹介する2つの機能のうち、ひとつは登録機能ですので皆様よくお使いなのですが、もうひとつをご利用でない館にご案内すると、ほぼ異口同音に「使ってみたい」と仰います。この「クリップリスト」は、うまく使いこなしていただければ作業の効率化に大きく貢献すること請け合いの機能。今回のリニューアルではこれまで以上に使いやすくなりますので、まだご利用でない場合は、ぜひこの機会にお試しいただければと存じます。必要であれば操作説明も可能ですので、その際はどうぞお気軽にお問い合わせくださいませ。

そんなわけで、さっそく次ページから詳しいご説明へと進むことにいたします。

I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS 発行予定

Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
Vol.2	2022/2/28	デザインコンセプトとホーム画面
Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
Vol.5	2022/5/31	データ登録方法とクリップリスト
Vol.6	2022/6/30	人物・名簿とメディア
Vol.7	2022/7/31	資料利用
Vol.8	2022/8/31	公開設定
Vol.9	2022/9/30	項目設定
Vol.10	2022/10/31	ユーザ管理・一括処理
Vol.11	2022/11/30	帳票設定
Vol.12	2022/12/31	移行方法と並行運用について
Vol.13	2023/1/31	総集編 (Vol.1からVol.12までを1冊に)

Now!

Vol.6以降の順序を一部変更しました。



各部の名称



「リニューアルEXPRESS Vol.5」では、画面の各部を以下のように呼びます。

- ① 上部バー
- ② グローバルナビゲーション
- ③ タイトルエリア
- ④ サイドバー
- ⑤ メインエリア(検索結果)
- ⑥ モーダルウィンドウ(※)

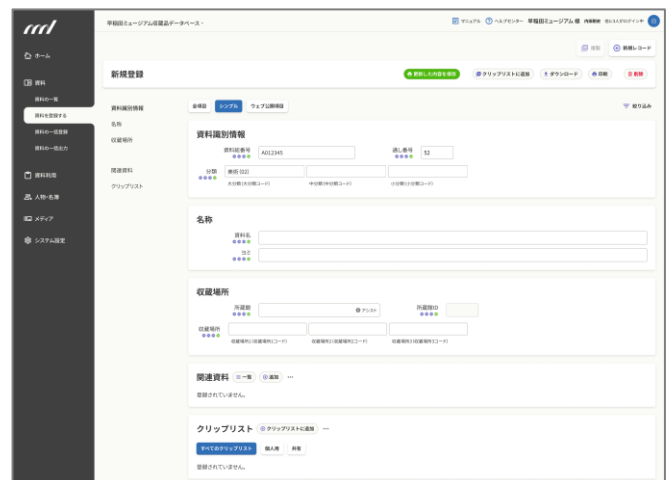
※ モーダルウィンドウとは、メインウィンドウの上に別枠で表示される子ウィンドウのこと。必ず読むべき情報や重要な操作を行う直前の警告、あるいは入力欄そのものなどが場面に応じて表示されます。指定の操作を完了・キャンセルするまで最前面に表示され続けますので、その間はメインウィンドウの操作ができません。小さなウィンドウは「ハーフモーダル」と呼ぶこともあります。

リニューアル情報③ データの新規登録

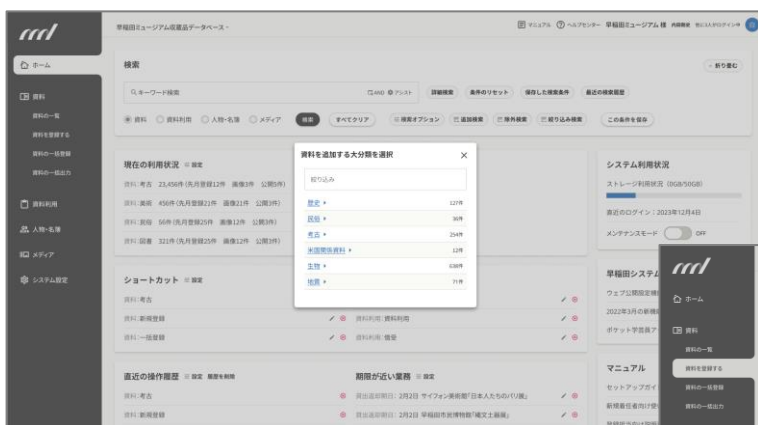
ホーム画面からすぐに新規登録も可能に。
シンプルモードで「ざっくり登録」も。

大量の資料情報の新規登録作業を行っている時などは、翌日にログインしたらすぐに前日の作業を再開したいものです。そこで、メインメニューから直接「資料データの新規登録」画面に入ることができるよう、グローバルナビゲーションの中にボタンを設置しました。

また、前号の「詳細画面」でご説明しましたが、リニューアル後の機能改善では、項目が多い場合はよく使うものに絞って表示できる「シンプルモード」を搭載予定です。大量のデータの登録を始める場合など、必要最低限を入力する際に「空欄だらけ」でテンションが下がる心配もなし。このように、常にモチベーションを保てるようスピーディな作業環境を提供するのも、今回のリニューアルのポイントのひとつです。

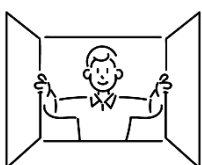
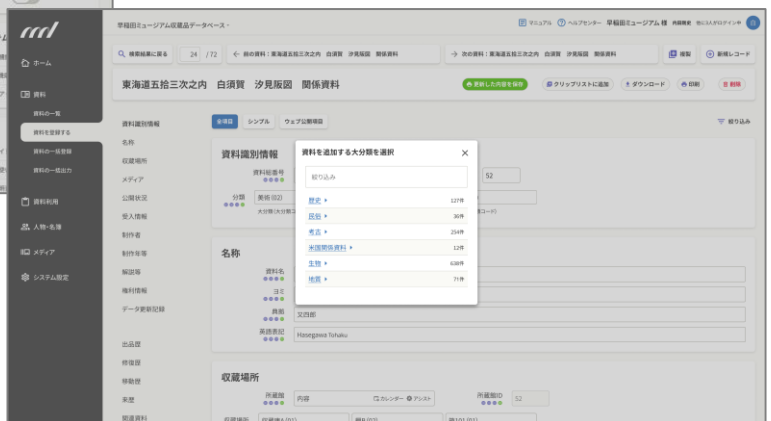


今回のリニューアル後に搭載を計画している「シンプルモード」の登録画面。データ項目を絞る形で表示されています。



左 | ログイン直後のホーム画面から移動することなく、登録情報の分類を選ぶモーダルウィンドウが表示されますので、すぐに登録作業に移れます。

下 | ある資料の詳細情報を表示している時、新しく別の資料データを登録したい場合も、分類選択画面がそのままモーダルで立ち上がります。

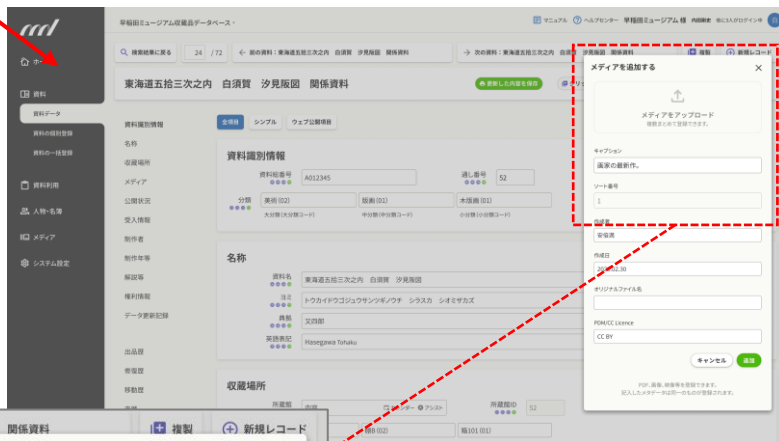


メディア(画像)も、専用画面を開くことなく 資料詳細画面の中で登録できます。

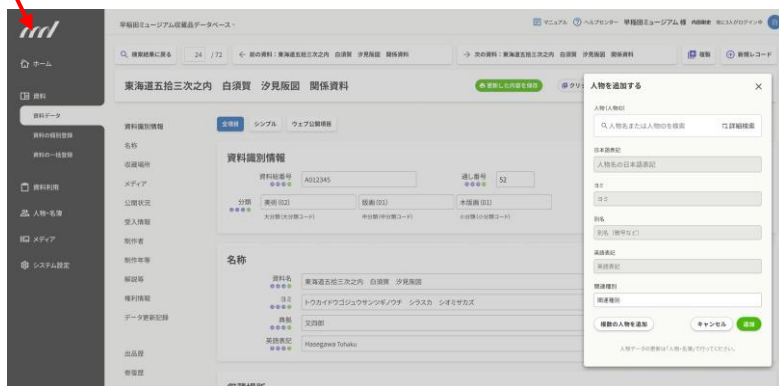
現行のI.B.MUSEUM SaaSでは、メディア(画像)データの登録は画像登録専用の画面から行います。詳細画面の情報を見ながら画像を登録することはできませんので、連続作業の途中で集中が途切れると、どの資料を見ているのが混乱することがありました。そこで、今回のリニューアルでは、資料詳細画面からハーフモーダルを開いて登録できるように変更します。

画像を含むメディアの重要性が高まる近年は、画像を先に登録し、後から資料データに紐付けるという作業手順を取るケースが増えているようです。今回のリニューアルでは、こうした館内の作業フローの変化にも目を配る形となっておりますが、ほかに人物データの登録まわりでも同様の考え方による新デザインを導入する予定です。こちらにつきましては、次号・Vol.6で詳しくご説明する予定です。

併せて、多くのご要望をいただいていたメディアをまとめてアップロードできる機能も搭載予定。こちらはVol.12で詳述します。



詳細画面上でメディアの追加ボタンをクリックすると、上のように画像登録用のモーダルが立ち上がります。最上部には、メディアのアップロード用のエリアが。ここに複数画像をドラッグ&ドロップすることでメディアを登録することができます。下は、登録する人物データ呼び出すためのモーダル。よく似た考え方の画面ですので、こちらは次号でご説明いたします。



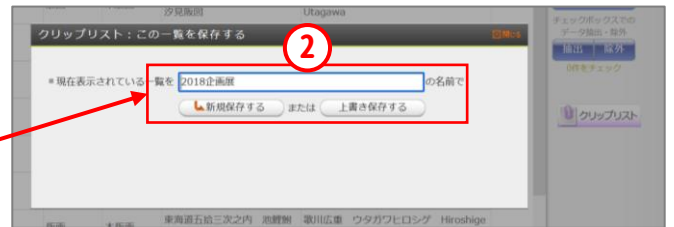
クリップリストの呼出から編集、保存までをより分かりやすく、よりシンプルな動線に。

クリップリストはまず「個人用」で作成し、共有できるようになったらステータスを変更。

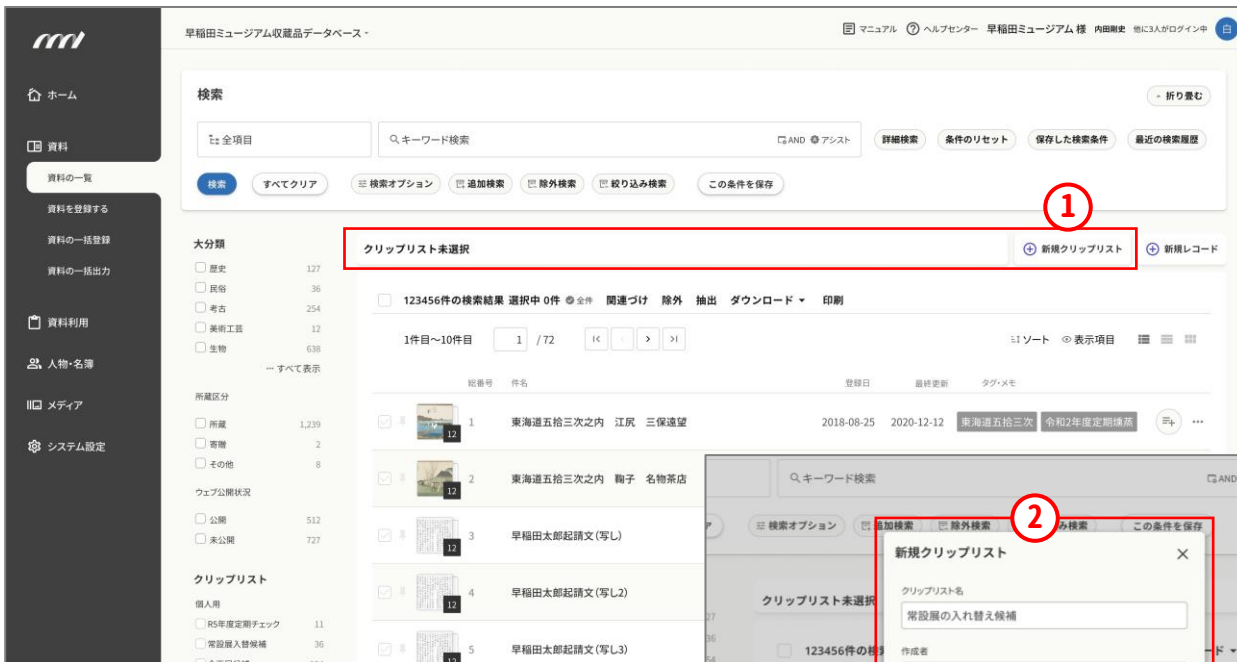
検索結果一覧を絞り込んでリストを作っていく際、まだ検討中のメモ程度の完成度であっても、時間の都合などで保存しなければならないことがあります。現在の仕様では、保存したデータは館のユーザで共有されますが、備忘録くらいの段階であれば、できれば「自分だけが閲覧可能」に留めておきたいところ。そこで今回のリニューアルでは、クリップリストを作成して保存する際、まずは自分以外には公開しない個人用としておき、中身が詰まってきたら館内共有にステータスを変更できる機能を搭載します。これによって、ほかの職員と共有できるレベルに仕上がるまではプライベートなリストのままメンテナンスを続けることができるようになります。

クリップリストは利用頻度が高い分、インターフェースの改善について数多くのお声が寄せられてきました。たとえば、「呼び出した後にリスト名がどこにも表示されないで、現在作業中のリスト名が分からなくなる」「リストがたくさん保存されていると、いまずぐ使いたいリストを探しにくい」「リストを削除する方法(ボタンの位置)が分かりにくい」など、ご要望は細部の使い勝手にまで及びます。

今回のリニューアルは、現在の機能をすべて維持した状態でユーザインターフェースを改善することに主眼を置いています。ただし、このクリップリストに関しては、インターフェースの一新のみならず、新たな機能の追加にも着手。今回のリニューアルに限らず、今後も長期的に見直しを継続していく予定です。



【検索結果一覧をクリップリストに登録 ↑旧画面 ↓新画面】



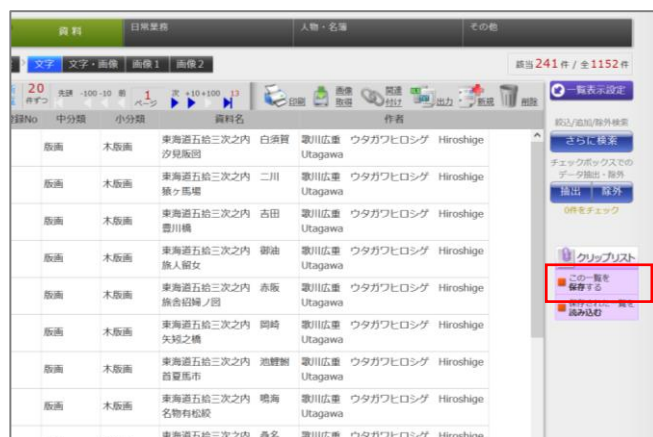
- ① 新画面では、クリップリストを開いているのか、クリップリスト化されていない検索結果一覧画面を表示しているのかがひと目で分かります。
- ② クリップリスト登録 | 新画面では、個人用に留めるか、他のユーザと共有するかを選ぶことができます。初期状態では、右のように「個人」となります。

クリップリストを一覧表示して行う作業も、 操作の可視化とクリック数の削減を実現。

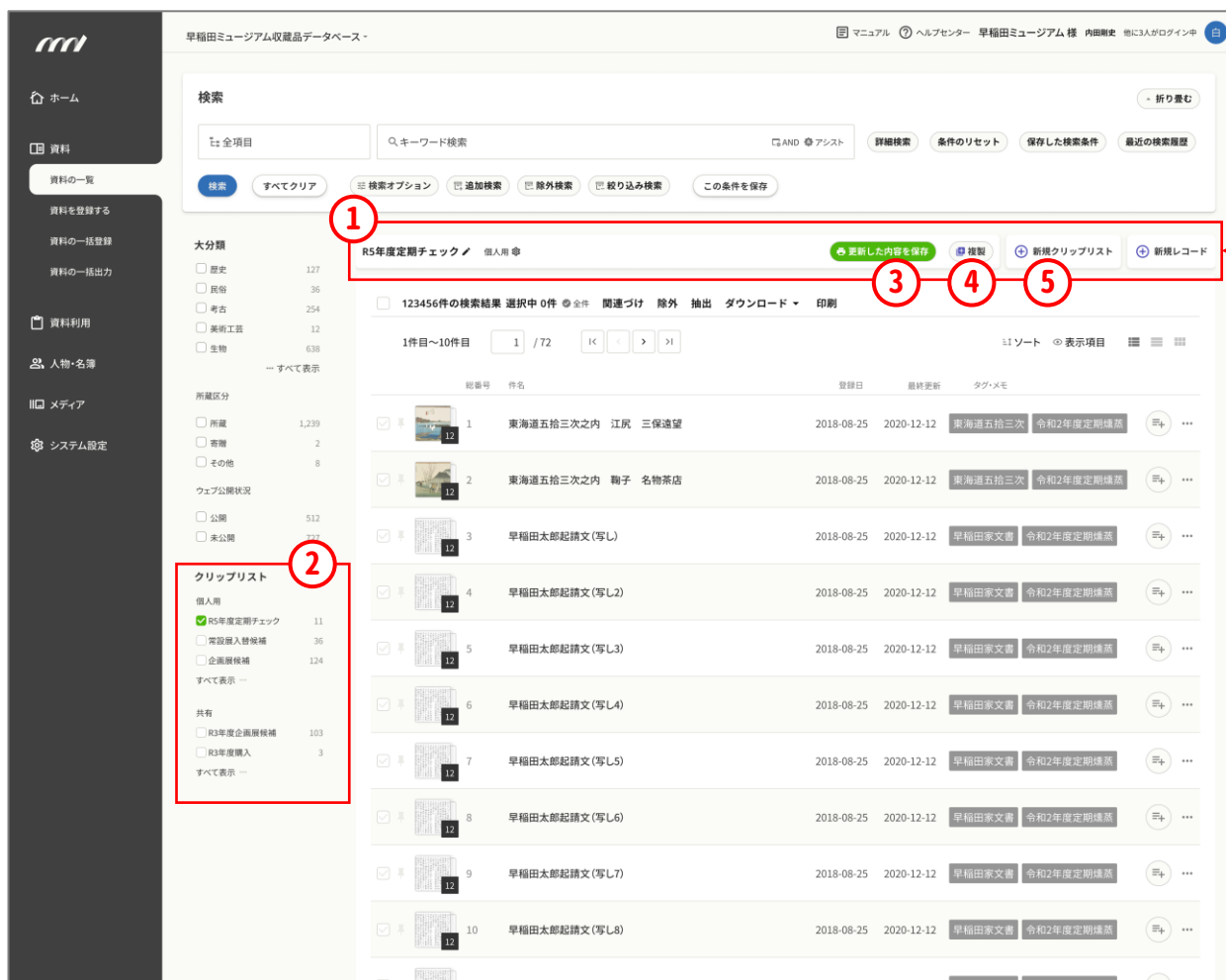
クリップリストは、もともと検索結果一覧がベースとなっています。そこに特定の情報の抽出や除外といった編集作業を加え、名前を付けて保存することで、後から自由に呼び出せるようにしたものです。つまり、クリップリストと検索結果一覧は、見た目上の変化がないこととなります。現行のインターフェイスで「いま開いている一覧」に名前が表示されないのも、別のクリップリストを開くために専用の画面を表示させなければならないのも、このためです。

そこで、新デザインでは、メインエリア上部とサイドバーにクリップリスト名を表示。「いま何を見ているか」を常に確認しながらの作業が可能になります。またリストの複製も同じ画面でできますので、最小のクリック数で次の作業に移ることが可能になります。

- ① リスト名表示エリア
- ② サイドバー内クリップリスト名表示 | 表示しているクリップリスト名が表示されるとともに、チェックボックスがONになります。複数リストを表示している場合も同様です。



- ③ クリップリスト保存ボタン | 「更新した内容を保存」と、操作内容を具体的に明示します。
- ④ 複製 | 現行デザインでリストを複製する際には、保存ボタンをクリックすると新規保存か更新かという選択肢が表示され、新規保存を選ぶと別のリストとして保存されました。新デザインでは、まず最初に「複製」ボタンが表示されるため、登録済みのリストに誤って上書きしてしまう可能性が低くなります。
- ⑤ 新規クリップリスト | 新しいクリップリストを開きます。

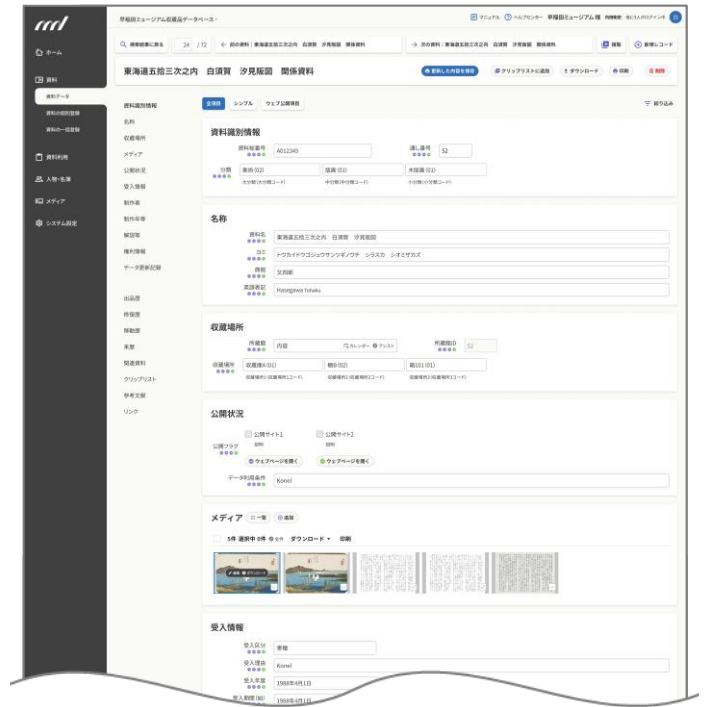
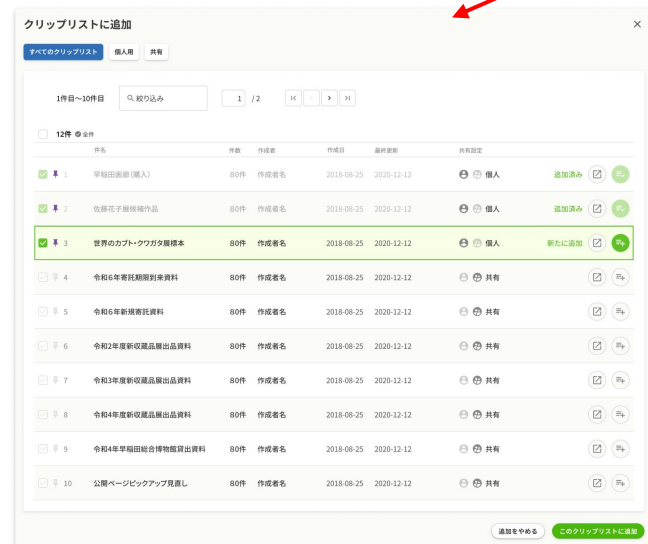


いま見ている資料詳細画面から クリップリストへ移る動きもスムーズに

現在表示している資料が、どのクリップリストに含まれているのかを確認したい。そんな時は、まず資料詳細画面の右下のボタンをクリックし、担当者一覧からリストを探すという動作が必要でした。今回のリニューアルでは、資料詳細画面上で、その資料を含んでいるクリップリストが表示されるようになります。リストが多い場合は、ピン留め(後述)されたもの、次に作成日や更新日の新しいものが数件表示されます。これらの連携によって、特定のリストを探す時、閲覧中のデータを別のリストに加える時など、クリップリストを扱う際のクリック回数はかなり軽減されることとなります。

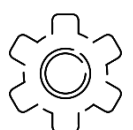


詳細情報から登録するクリップリストを選びたい…。上は現行デザインの画面、右および下の画面が新デザインの画面です。グッと探しやすい、スピーディに作業できるように進化しているのがお分かりいただけますでしょうか。



上の詳細画面には、その資料が含まれているクリップリストが一定の件数表示されています。当該資料をリストに加えたい時、表示中のものであれば、それを選ぶだけ。

ほかのクリップリストに追加するには、専用ボタンで左の画面を開きます。現行デザインとは見た目だけでなく仕様が大きく異なりますので、次のページで詳しく説明します。



リストを検索したり、絞り込んだり。

複数のリストを扱う動作も大幅に改善。

保存されているクリップリストの一覧を表示する画面は、現行デザインとは画面の仕様が根本的に異なります。新デザインでは、まずクリップリストの一覧を表示。そして、それらのリストに対して何を行うかのボタンが並ぶこととなります。

- ① クリップリスト種別選択 | 初期表示では「すべてのリスト」が選択された状態。個人用と共有も選べます。
- ② クリップリストの絞り込み | 表示されているクリップリストを作成者や作成日などの条件で絞り込みます。
- ③ ピン留め | 今回のリニューアルでの追加機能です。よく使うリストに対する目印のようなもので、予めピン留めしておく、サイドバーのクリップリスト一覧、あるいは詳細画面内のその資料が含まれるクリップリストが表示されるエリアで優先的にピックアップされます。

- ④ 並べ替え | 一覧表示されているクリップリストを、クリックした項目で並べ替えます。昇順、降順の切り替えができます。
- ⑤ 登録済みクリップリスト | 当該資料がすでに含まれているクリップリストは、フォント色が薄く、クリックすることができません。加えて、「追加済み」のテキストが表示されます。
- ⑥ クリップリストへ | 選択したクリップリストの中身（前々ページの画面）を別ウインドウで表示します。別ウインドウなので、もともと表示している画面はそのままとなります。
- ⑦ 追加するクリップリストを選択 | 当該資料をそのクリップリストに追加するボタンです。クリックすると、その行（クリップリスト）がハイライトされ、画像のように「新たに追加」というテキストが表示されます。複数のボタンをオン状態にすれば、まとめて登録することができます。
- ⑧ クリップリストに追加 | 選択されたクリップリストに当該資料を追加する操作を実行します。複数のリストを選択している場合は、すべてがまとめて追加されます。

クリップリストに追加

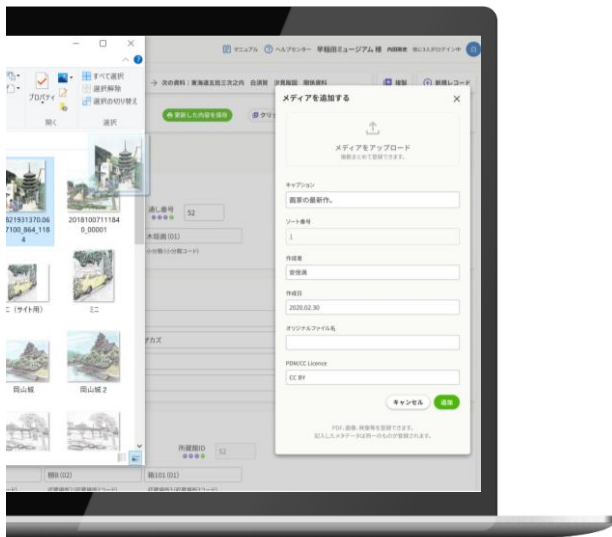
すべてのクリップリスト 個人用 共有

1件目～10件目 絞り込み 1 / 2

12件 全件

件名	件数	作成者	作成日	最終更新	共有設定		
早稲田画廊(購入)	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	個人	追加済み	📄
佐藤花子展候補作品	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	個人	追加済み	📄
世界のカプト・クワガタ展標本	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	個人	新たに追加	📄
令和6年寄託期限到来資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
令和6年新規寄託資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
令和2年度新収蔵品展出品資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
令和3年度新収蔵品展出品資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
令和4年度新収蔵品展出品資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
令和4年早稲田総合博物館貸出資料	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄
公開ページピックアップ見直し	80件	作成者名	2018-08-25	2020-12-12	共有		📄

追加をやめる このクリップリストに追加



今回のまとめと次号のお知らせ

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。

I.B.MUSEUM SaaS は主に収藏品データを登録し、活用することを目的としたツールです。登録まわりの機能は当然として、その観点から言えば、システムの中での応用範囲が非常に広いクリップリストも作業の効率化に大きな貢献を果たせる機能。将来的な発展性の面でも十分に伸び代を見込める「期待の機能」でもあります。

クリップリストは、多様な作業シーンで役立ちます。応用方法はアイデア次第で、たとえば作成したリストそのものを展示や貸出の一覧として使用したり、寄託期限等の管理表にもなります。今回のリニューアルでは個人用リストの作成が可能となることで、業務の合間に「いつか個人的にトライしてみたい企画展の候補リスト」を少しずつ拡充するなど、活用の幅はさらに広がることでしょう。

また、I.B.MUSEUM SaaS では、情報公開機能を活かして巡回展の各参加館との情報の共有を試みるなど、新しい活用法も検討されるようになってきました。オンラインでの活動機会が増える中では、音楽配信サービスにおけるプレイリストの共有のように、いつか館の垣根を超えた共同作業がクラウド上で行える時代が到来するかもしれません。

弊社では今後もこれまで同様に機能改善を重ねて参りますが、今回のリニューアルは、そうした長期的な追加開発を行いやすくするプログラムの改修も伴います。ここでご紹介したクリップリストは、リニューアル後にも継続的な検討を重ねることになる機能の代表格のひとつ。もしかしたら思わぬ進化を遂げるかもしれませんので、まだご利用でない場合は、ぜひリニューアルの前に、その概念に慣れておいていただくことをおすすめいたします。もし操作説明をご希望の際は、お気軽にお声かけください。

というわけで、次号は人物・名簿とメディア（現在の全画像）のご紹介です。どうぞお楽しみに。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。